

2008年3月期中間 決算説明会

2007年10月25日

NECリース株式会社

目 次

1 . 2008年3月期中間実績報告

- 業績概要
- 事業別売上高・売上総利益
- 事業別契約実行高
- 機種別賃貸事業契約実行高
- 事業別営業資産残高
- 不良債権の状況
- 資金調達の状況

2 . 2008年3月期中間の成果

- リース・割賦事業の減退に歯止め
- 新事業の急速な立ち上がり
- 事業ポートフォリオ拡大への取り組み
- 経営・事業・経費効率化戦略
- CSR経営への取り組み

3 . 2008年3月期計画

- 業績予想
- 配当予想

会社概要

1. 2008年3月期中間実績報告

■ 業績概要

(単位: 億円)

	2007/3期中間	2008/3期中間	
			前年比
売上高	1,347	1,309	-2.8%
経常利益	44	32	-26.3%
中間純利益	26	20	-21.3%
1株当たり中間純利益	119円01銭	93円65銭	-
営業資産残高	6,679	6,866	2.8%
純資産	579	607	5.0%
自己資本比率	8.0%	8.1%	-
1株当たり中間配当金	22円00銭	22円00銭	-

(億円未満四捨五入)

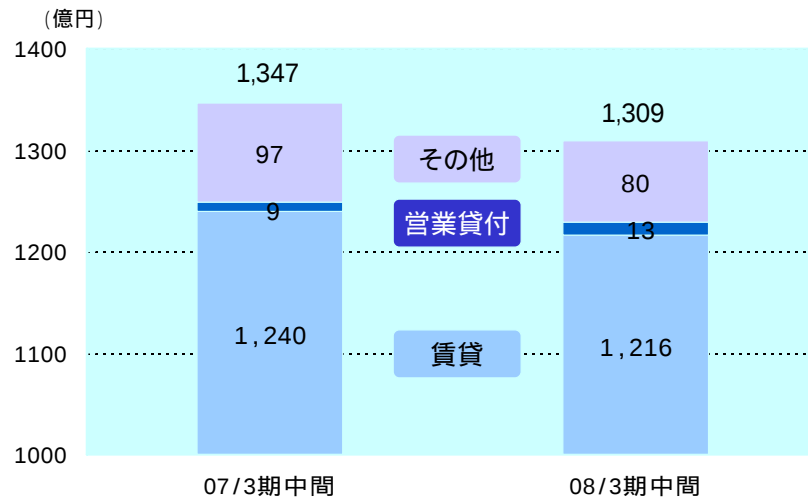
■ 事業別売上高・売上総利益

(単位: 億円)

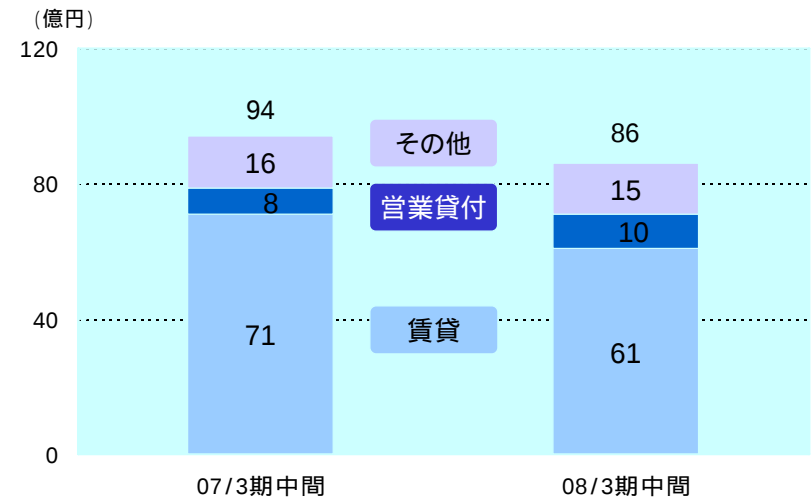
	2007/3期中間				2008/3期中間				前年増減	
	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上総利益
賃貸事業	1,240	1,148	21	71	1,216	1,128	27	61	-24	-10
営業貸付事業	9	0	1	8	13	0	3	10	4	2
その他事業	97	82	0	16	80	64	0	15	-18	-0
合 計	1,347	1,230	22	94	1,309	1,193	30	86	-38	-8

(億円未満四捨五入)

□ 事業別売上高



□ 事業別売上総利益



■ 事業別契約実行高

(単位: 億円)

	2007/3期中間	2008/3期中間	前年増減
賃貸事業	1,059	984	-75
営業貸付事業	1,151	1,543	392
割賦販売	55	107	52
営業貸付金	1,096	1,436	340
その他事業	21	14	-7
合 計	2,231	2,541	310

検収ベース

(億円未満四捨五入)

■ 機種別賃貸事業契約実行高

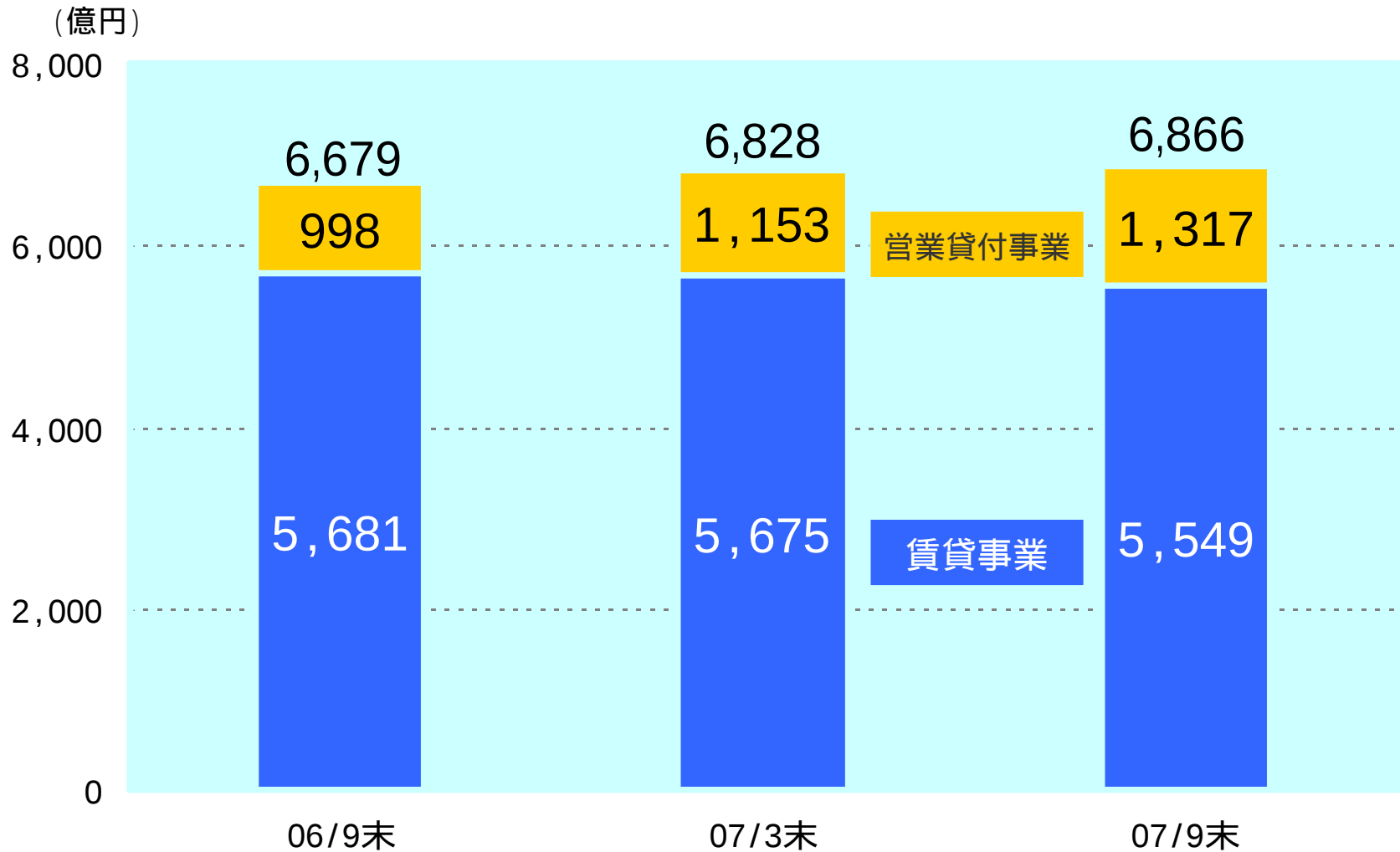
(単位: 億円)

	2007/3期中間	2008/3期中間	
			前年増減
情報通信機器	825	717	-108
電子計算機及び関連装置	396	341	-55
ソフトウェア	346	321	-25
通信機器及び関連装置	83	55	-28
事務用機器	73	100	28
その他機器	162	167	5
合 計	1,059	984	-75

(億円未満四捨五入)

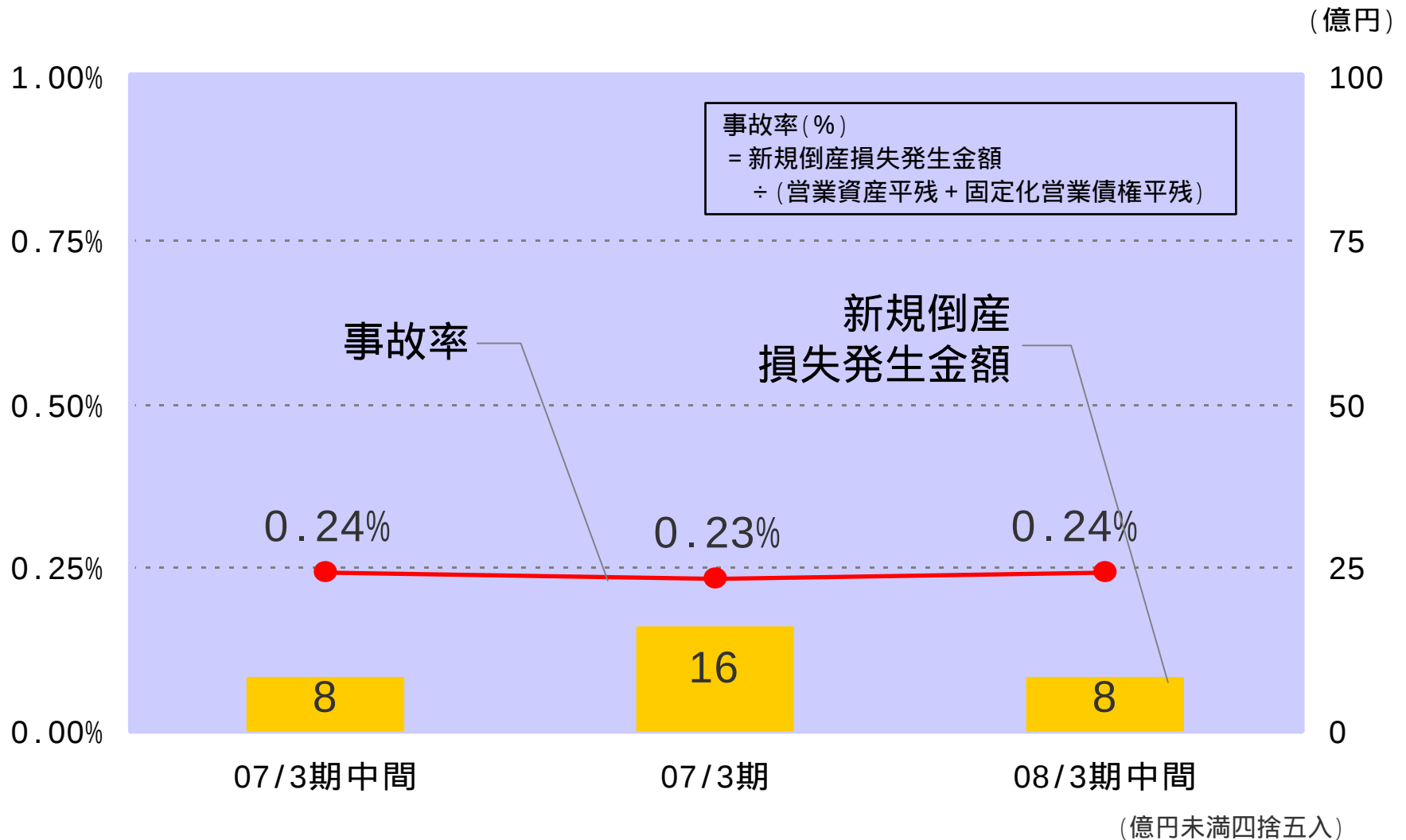
検収ベース

■ 事業別営業資産残高

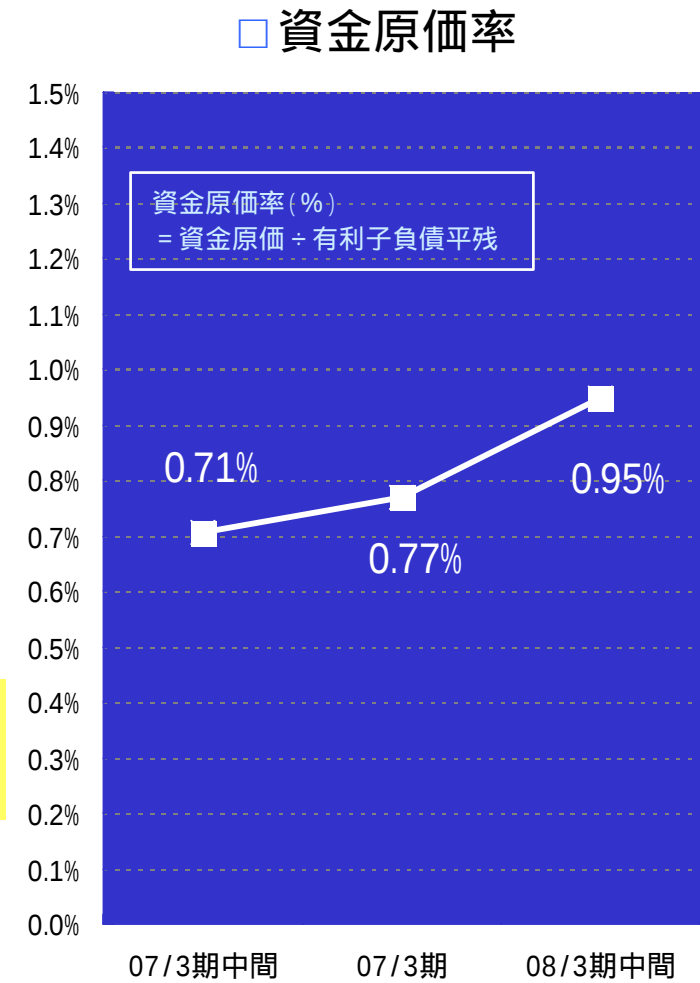
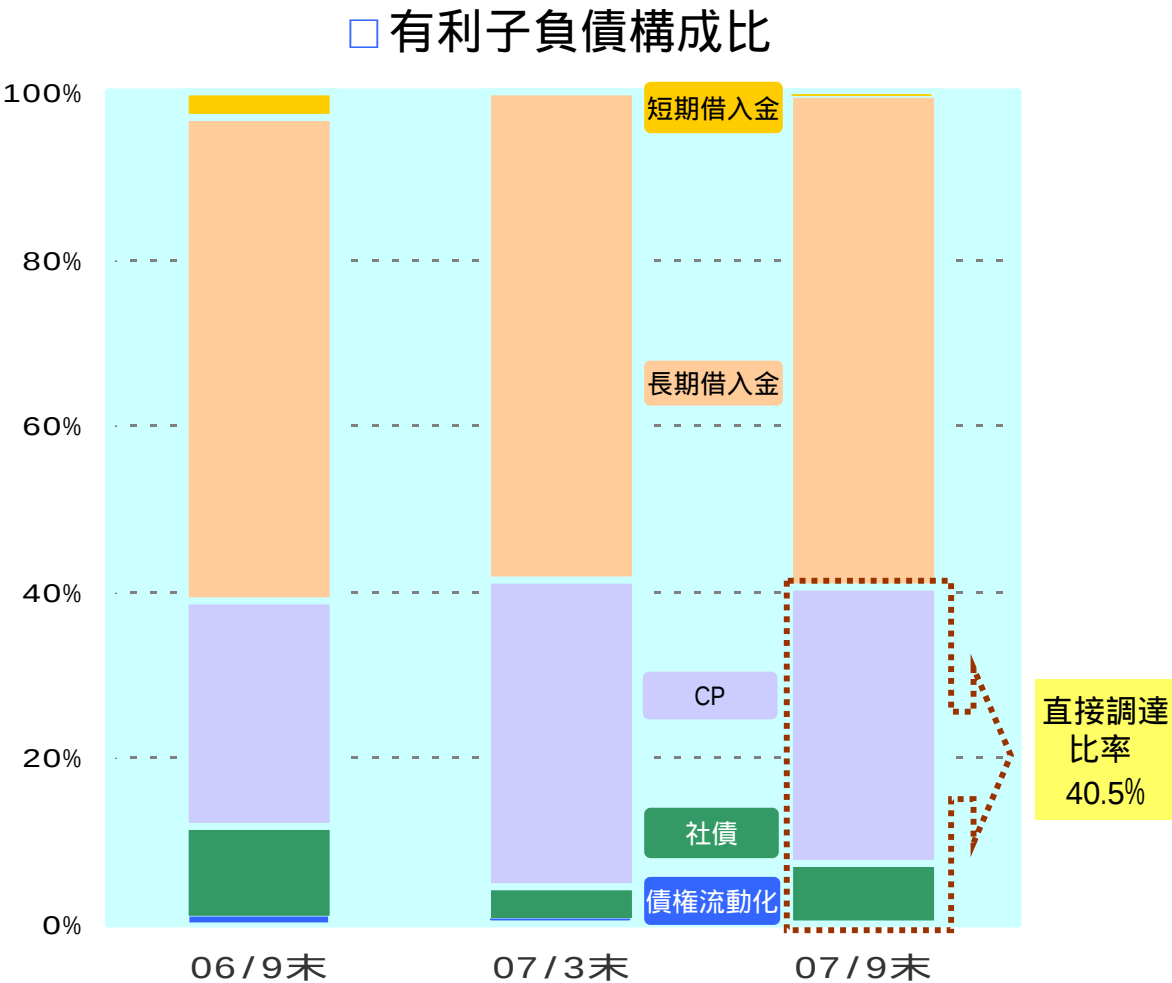


(億円未満四捨五入)

■ 不良債権の状況



■ 資金調達の状況

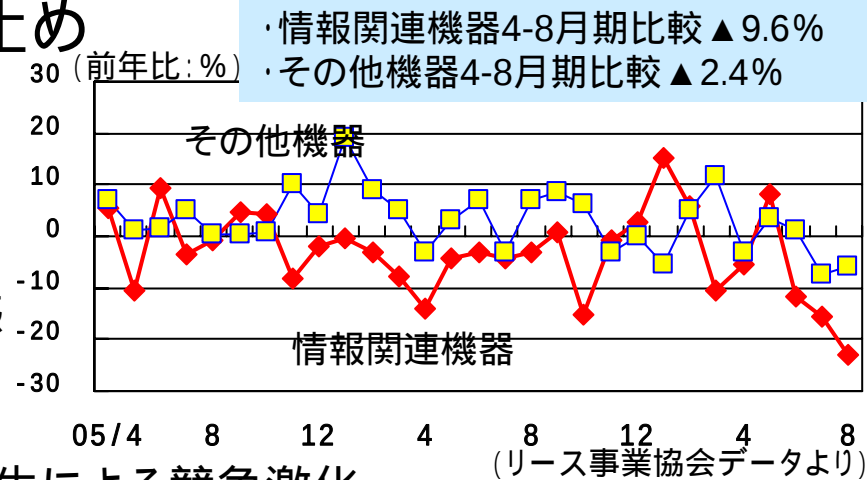


2. 2008年3月期中間の成果

■ リース・割賦事業の減退に歯止め

逆風の事業環境

- 金利上昇と転嫁の遅れ
- IT機器投資の回復に出遅れ感
- リース会計制度・税制の変更
- リース業界再編、メガリース誕生による競争激化



メーカー系らしさを追求した施策を展開

- NECへの企画レベルの連携強化
- グループ販売店への戦略営業



足元成約で改善傾向

小口リースを除いた成約高が前年同期比でプラスに

■ 新事業の急速な立ち上がり

(1) クロスセリングツールの充実化

- 診療報酬債権の流動化
- 生命保険販売

(2) メーカー系ならではのサービスリリース

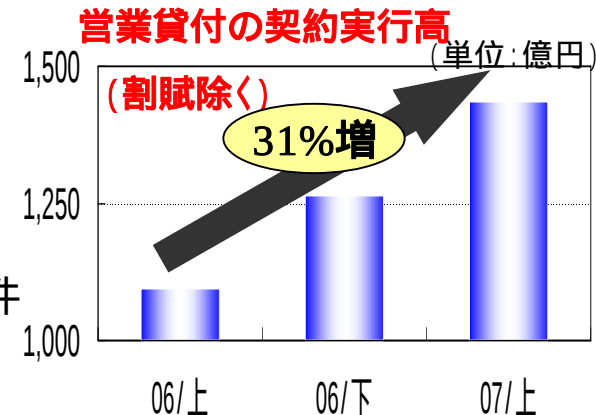
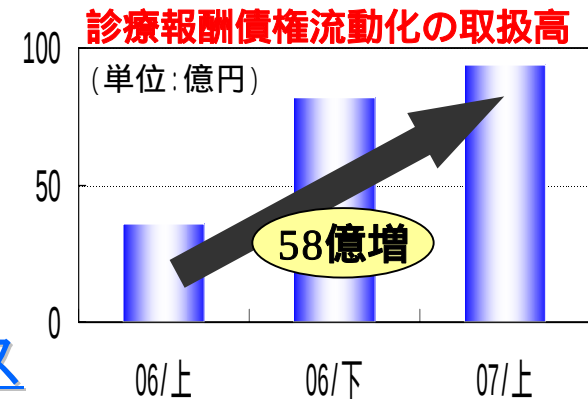
- PC-PITサービス

→ 上流工程強化のため10月にアエルプランニング社と業務提携

(3) ファイナンス事業の強化

- ABL (Asset Based Lending) への取り組み
 - 7月にABL協会理事会社に就任
- ソフトバンクモバイル社向けシンジケート組成
 - 当社が幹事となった初のシンジケート組成案件
- 東京債権回収との業務提携

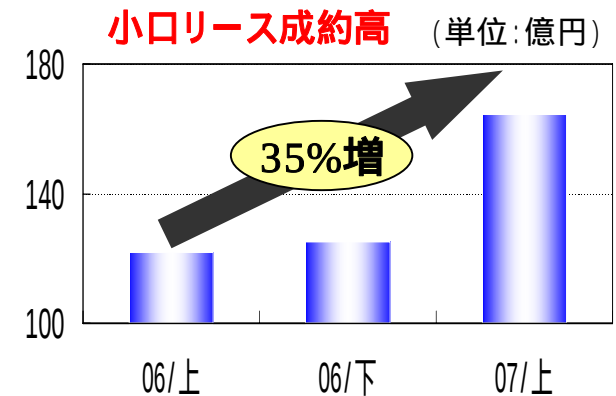
→ 「メーカー系ファイナンス会社」と「独立系サービサー」の強みを活かした取り組みに期待



■ 事業ポートフォリオ拡大への取り組み

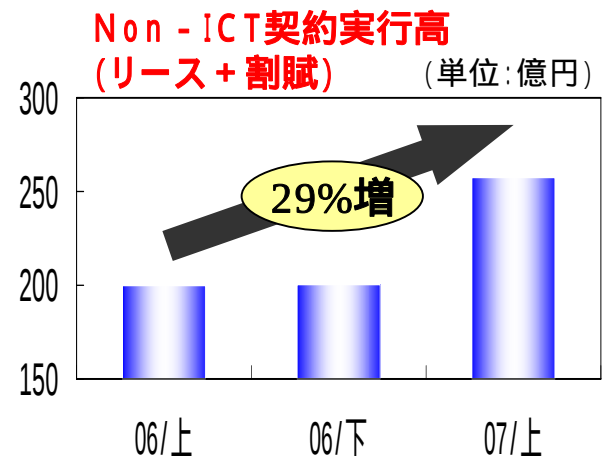
(1) 小口リース事業の成長

- ディーラー開拓や審査システム改良によるバグヤード合理化が進む
 - 上期成約高150億円突破
 - 営業債権残高700億円突破



(2) Non - ICT分野の伸長

- 既存のお客様のNon - ICTニーズへの対応
- 新たなベンダーチャネルの全国展開



■ 経営・事業・経費効率化戦略

SMARTプロジェクトの本格展開

- 事務の標準化・平準化による事務効率の改善、
営業時間の創出を目指す
- 一部拠点から全国の拠点到展開

■ CSR経営への取り組み

社会貢献活動「わくわく子どもの池プロジェクト」の推進

- NPO法人アサザ基金の協力で
小中学校にビオトープを造成
- 都内2校に展開中



3 . 2008年3月期 計画

■ 業績予想

(単位:億円)

	2007/3期 (実績)	2008/3期 (予想)	前年比
売上高	2,657	2,660	0.1%
経常利益	70	75	6.7%
当期純利益	41	44	8.0%
1株当たり当期純利益	189円21銭	204円34銭	

(億円未満四捨五入)

■ 配当予想

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2008年3月期予想 (2007年4月25日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2007年3月期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

◆ 事業の安定的成長を背景に、積極的な株主還元を目指す

会社概要

◆商号	NECリース株式会社
◆本社所在地	東京都港区芝5-29-11 NEC住生ビル
◆創業	1978年11月30日
◆純資産	607億円（2007年9月30日現在）
◆上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 8793)
◆代表取締役社長	加藤 奉之
◆主な事業内容	総合リース業 (賃貸事業、営業貸付事業、その他事業)
◆従業員数	484 (2007年9月30日現在)
◆格付(R&I)	長期:A- / 短期:a-1

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。